

1. はじめに

厚生労働省は、JECFA で国際的に安全性評価が終了し、一定の範囲内で安全性が確認されており、かつ、欧米等で使用が広く認められていて国際的に必要性が高いと考えられるものについては、企業等の要請を待つことなく、指定に向けた検討を開始する方針を示しており、また、指定等の要請があったものについても、食品安全基本法に基づき厚生労働省から依頼があれば、食品健康影響評価をおこなう必要がある。このため効率的に食品健康影響評価を進めていくためには、予め、関連する情報の収集・整理をおこなっておく必要がある。

本事業は、評価の依頼が想定される食品添加物について、リスク評価をおこなうために必要不可欠な国内外の情報を予め収集・翻訳・整理をおこない、今後のリスク評価に必要な基礎的な資料の整備をおこなうとするものである。

1.1 調査対象

(1) 対象物質

内閣府食品安全委員会事務局殿が指定する物質に限定して調査をおこなうものとする。

平成17年度の調査対象物質は「2. 物質一覧」を参照のこと。

ただし、(3)の食品添加物の評価をおこなった論文の調査・収集では、平成15年度または16年度に調査をおこなった物質のうち指定された物質について追加調査をおこなう。

また、(4)のリスク評価方法レビューに関しては、物質を特定せずに調査・収集をおこなう。

(2) 食品添加物のリスク評価結果及び引用文献の調査・収集

「3. 国際機関一覧」の国際機関で報告されている食品添加物のリスク評価結果及び引用されている文献について、調査・収集する。収集したリスク評価結果について翻訳をおこない、引用文献については、書誌事項及び抄録を作成する。収集内容と掲載ファイルは表 1のとおりである。

表 1

調査内容	掲載ファイル	備考
リスク評価結果原文	資料番号①	
リスク評価結果翻訳	資料番号①	
リスク評価結果引用文献一覧	資料番号①	
リスク評価結果引用文献原文	資料番号①	複写不可の文献については原文なし
リスク評価結果引用文献抄録	資料番号②(本紙)	複写不可の文献については抄録なし

(3) 食品添加物の評価をおこなった論文の調査・収集

食品添加物について物質毎に国際機関等において、評価がおこなわれた年以降に公表された安全性に関する論文を調査・収集する。尚、調査に当たっては、データベース検索(※1)をおこない、対象データベースとしてはTOXCENTER、EMBASE、FSTA、MEDLINE(以上STN)、JSTPlus、JMEDPlus(以上JOIS)とする。調査・収集した文献については、書誌事項及び抄録を作成する。収集内容と掲載ファイルは表 2のとおりである。

表 2

調査内容	掲載ファイル	備考
食品添加物評価論文原文	資料番号①	複写不可の文献については原文なし
食品添加物評価論文一覧	資料番号①	
食品添加物評価論文抄録	資料番号②(本紙)	複写不可の文献については抄録なし

※1 検索式については「8. 付録 (1)論文検索式」を参照のこと

(4) 食品添加物の国内外リスク評価方法レビューの調査・収集

調査対象物質の他に、食品添加物のリスク評価及び安全性評価にかかわる論文を収集する。尚、調査に当たっては、データベース検索(※1)をおこない、対象データベースとしてはTOXCENTER、EMBASE、FSTA、MEDLINE(以上STN)、JSTPlus、JMEDPlus(以上JOIS)とする。調査・収集した文献については、書誌事項及び抄録を作成する。また、内閣府食品安全委員会事務局殿が指定された文献についての翻訳もおこなう。収集内容と掲載ファイルは表 3のとおりである。

表 3

調査内容	掲載ファイル	備考
リスク評価方法レビュー原文	資料番号①	
リスク評価方法レビュー翻訳	資料番号①	指定されたリスク評価方法レビューのみ
リスク評価方法レビュー一覧	資料番号①	
リスク評価方法レビュー抄録	資料番号②(本紙)	

※1 検索式については「8. 付録 (1)論文検索式」を参照のこと

1.2 管理番号

(1) 管理番号について

収集したリスク評価結果及び引用文献、論文の整理をおこなうため、独自の管理番号を付与する事で管理をおこなう。

(2) 管理番号体系

食品添加物のリスク評価に関する情報収集調査における物質、機関、リスク評価結果、引用文献および論文に付与する管理番号体系および命名規約については表 4のとおり既定する。

表 4

項番	名称	番号体系	内容
1	物質ID	MMM(3桁の数字)	調査対象の物質の管理番号
2	国際機関ID	OOO(3桁の数字)	調査対象となる国際機関の管理番号
3	リスク評価結果ID	MMM_OOO_EEE (物質ID_機関ID_3桁の数字)	収集したリスク評価結果の管理番号
4	引用文献ID	MMM_OOO_EEE_9999 (リスク評価ID_4桁の数字)	リスク評価結果に記載された引用文献の管理番号
5	論文ID	MMM_w_9999(物質ID_w_4桁の数字)	重複削除後(物質毎)の引用文献の管理番号
6		MMM_rs_9999(物質ID_rs_4桁の数字)	データベース検索結果の論文の管理番号

1.3 資料構成

(1) 全体構成

食品添加物のリスク評価に関する情報収集調査結果は原文・翻訳が掲載されたファイルと、引用文献、論文の抄録が掲載された報告書から構成されている。各ファイルの掲載内容は表 5のとおりである。

表 5

資料番号	タイトル	部数	掲載内容	備考
①	食品添加物のリスク評価に関する情報収集調査	1 ※1	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスク評価結果の原文 ・ リスク評価結果の翻訳 ・ リスク評価結果引用文献の原文 ・ データベース検索結果の原文 	
②	食品添加物のリスク評価に関する情報収集調査報告書	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品添加物に関するリスク評価結果引用文献抄録 ・ 各食品添加物に関するデータベース検索結果の論文抄録 ・ 食品添加物のリスク評価及び安全性評価にかかわる論文抄録 	本書

※1・・・一冊のファイルに納まらないため、複数ファイルに分かれる

(2) 本書の構成

本資料は「食品添加物のリスク評価に関する情報収集調査」ファイルに収録されている「食品添加物のリスク評価結果引用文献」、「食品添加物の評価をおこなった論文」、「リスク評価及び安全性評価レビュー」の抄録についてまとめている。「食品添加物のリスク評価結果引用文献」の抄録は物質毎に重複がないように、論文IDを付与して管理している。

資料構成は図1のとおりである。

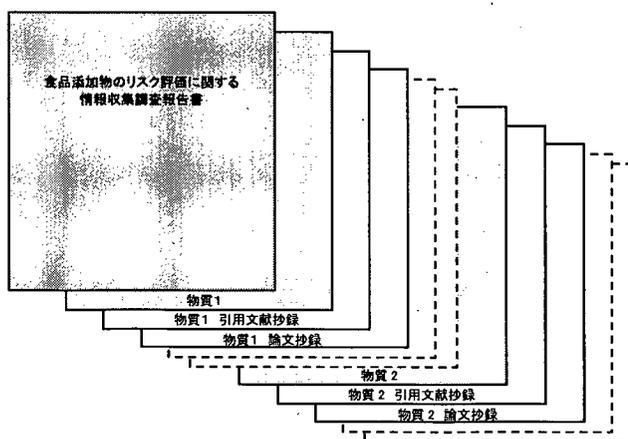
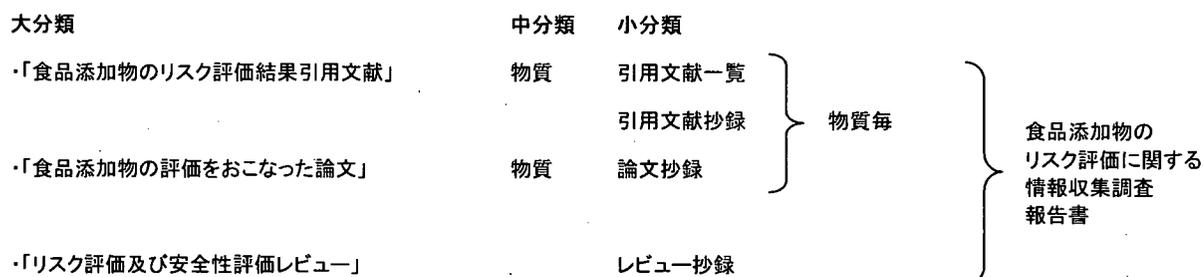


図 1